

一般会計3月補正予算等の概要について (令和6年度一般会計補正予算第7号等)

■3月補正予算

(1) 概要

一般会計は、既定の歳入歳出予算の総額に4億921万1千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を323億9,482万6千円にするものです。

主な補正内容は、

① 物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するための補正

② 温泉施設及び滞在型宿泊施設整備推進のための補正

となり、集約の結果、歳入と歳出に差額が生じたため、財政調整基金繰入金を5億566万6千円減額することで収支を調整しています。

特別会計では、競艇事業特別会計における競艇関連基金の再編や売上見込額の増額に伴う競艇開催関連費の補正などにより、総額125億3,286万8千円を増額する補正予算となっています。

事業会計では、請負差金及び事業の見直しに伴う補正などから、収入では3,544万5千円を減額し、支出では3,545万4千円を減額する補正予算となっています。

(2) 主な歳入歳出補正予算

① 物価高騰に対応するための補正

※次の2事業については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用

《歳 出》

■電子地域通貨ポイント付与事業＝2億7,909万1千円（商工課）

→物価高騰の影響を受けている市民や事業者の支援策として、みどり市電子地域通貨「みどモスPay」5千円分を全ての市民に付与して市民生活を応援するとともに、消費を喚起して地域経済の活性化を図るため増額補正するものです。また、併せて予算を翌年度に繰り越すものです。

【対 象 者】	全市民
【付与ポイント】	一人当たり5,000ポイント（5千円分）
【付与方法】	簡易書留にて世帯主宛に世帯員全員分のカードを送付
【利用方法】	①スマホアプリにポイントを移行して利用する。 ②受け取ったカードをそのまま加盟店舗で利用する。
【利用期間】	〔予定〕令和7年9月～12月末
【利用可能店舗】	234店舗（令和7年2月3日時点）

【次頁へ続く】

① 物価高騰に対応するための補正（続き）

■農林業物価高騰対応支援事業＝2,405万円（農林課）

→生産資材等の価格高騰の影響を受けている農林業従事者の支援策として、農林業従事者へ支援金を交付するため増額補正するものです。また、併せて予算を翌年度に繰り越すものです。

【対象者】農業：市内に主たる事業所を有し、直近の事業年分の法人税の申告をしている法人、又は市内に住所を有し引き続き居住している者で、令和5年に農業所得を申告している個人事業主

林業：市内に所在する法人又は市内に在住する個人事業主で、令和5年4月1日から令和6年3月31日の間で、主に林業に従事した者がいること

【支援金額】法人：20万円（上限） 個人：10万円（上限）

【支援内容】農業：令和5年確定申告で計上した肥料費の10%及び諸材料費の20%の金額の合計

林業：林業に200日/年以上従事した者が一人以上いる場合は満額
ただし、200日/年に満たない場合は、不足する日数に応じて減額

【申請期間】未定

② 温泉施設及び滞在型宿泊施設整備の事業費等変更ための補正

■温泉施設整備事業＝△1億1,633万5千円（社会福祉課）

→事業計画の見直しにより、外構工事及び備品購入を令和7年度に実施することから、予算の組み替えを行うため減額補正するものです。また併せて継続費の変更を行うものです。

◇財源…地域福祉基金繰入金＝△2,863万5千円（社会福祉課）

社会福祉運営事業債（合併特例事業債）＝△8,770万円（財政課）

（※充当率95%、交付税措置率70%）

■公共施設等総合管理計画事業＝△11億1,593万8千円（観光課）

→入札不調に伴う事業計画の見直しにより、本体工事を令和7・8年度に実施することから、予算の組み替えを行うため減額補正するものです。また、併せて継続費の変更を行うものです。

◇財源…デジタル田園都市国家構想交付金＝△2億5,000万円（企画課）

ふるさと思いやり基金繰入金＝△3,000万円（地域創生課）

市有財産管理事業債（過疎対策事業債）＝△8億3,590万円（財政課）

（※充当率100%、交付税措置率70%）

③ その他の歳入歳出補正（一般会計における基金再編に伴う補正）

（1）既存基金の統合による公共施設等整備基金の創設

《歳入》

■庁舎建設等基金廃止清算金＝1億2,695万7千円（財政課）

■義務教育施設整備基金廃止清算金＝2億48万3千円（財政課）

■社会教育施設整備基金清算金＝1,534万1千円（財政課）

《歳出》

■公共施設等整備基金積立金＝3億4,278万1千円（財政課）

（2）再編による競艇関連基金の有効活用

《歳入》

■競艇事業収入＝11億6,309万4千円（財政課）※競艇事業関連基金の再編による余剰金

《歳出》

■財政調整基金積立金＝7億7,709万4千円（財政課）

■こども未来基金積立金＝3億8,600万円（こども課）

△はマイナス（減額）を表しています。

一般会計 3 月補正予算等の概要について

1. 一般会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備 考
一 般 会 計	31,985,615	409,211	32,394,826	

2. 特別会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備 考
太 陽 光 発 電 事 業	76,025	15	76,040	
鉄 道 経 営 対 策 事 業	40,189		40,189	
国 民 健 康 保 険 (事 業 勘 定)	5,589,481	△ 3,388	5,586,093	
国 民 健 康 保 険 (診 療 所 勘 定)	102,793	△ 31,647	71,146	
後 期 高 齢 者 医 療	809,024	13,107	822,131	
介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	4,781,601	△ 5,905	4,775,696	
戸 別 浄 化 槽 事 業	11,963	△ 7,479	4,484	
農 業 集 落 排 水 事 業	110,709	△ 7,164	103,545	
企 業 用 地 整 備 事 業	1,500		1,500	
富 弘 美 術 館 事 業	192,143	1,135	193,278	
競 艇 事 業	165,410,684	12,574,194	177,984,878	
合 計	177,126,112	12,532,868	189,658,980	

3. 事業会計

(単位：千円)

会計区分	補正前	補正額	補正後	備 考
簡 易 水 道 事 業	収入 193,045	△ 8,793	184,252	
	支出 212,387	△ 8,802	203,585	
公 共 下 水 道 事 業	収入 1,931,533	△ 26,652	1,904,881	
	支出 2,083,465	△ 26,652	2,056,813	
合 計	収入 2,124,578	△ 35,445	2,089,133	
	支出 2,295,852	△ 35,454	2,260,398	

■継続費補正

1. 一般会計

(変更)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
2 総 務 費	1 総務管理費	公共施設等総合管理計画事業 (滞在型宿泊施設整備)	2,297,630	令和6年度	1,378,578	2,583,630	令和6年度	262,640
				令和7年度	919,052		令和7年度	1,406,358
							令和8年度	914,632
3 民 生 費	1 社会福祉費	温泉施設整備事業	2,897,966	令和6年度	1,738,780	2,923,706	令和6年度	1,622,445
				令和7年度	1,159,186		令和7年度	1,301,261

■繰越明許費補正

1. 一般会計

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
3 民 生 費	1 社 会 福 祉 費	地域密着型サービス事業所補助事業	39,600
6 農 林 水 産 業 費	1 農 業 費	農林業物価高騰対応支援事業	24,050
6 農 林 水 産 業 費	1 農 業 費	農村地域防災減災事業	11,000
7 商 工 費	1 商 工 費	電子地域通貨ポイント付与事業	279,091
7 商 工 費	2 観 光 費	ながめ公園維持管理事業	23,325
8 土 木 費	2 道 路 橋 梁 費	渡良瀬幹線道路関連整備事業	24,764
8 土 木 費	2 道 路 橋 梁 費	鹿田山周辺ウォーキング環境整備事業	42,812
8 土 木 費	2 道 路 橋 梁 費	生活道路整備事業	21,121
8 土 木 費	3 都 市 計 画 費	土地利用計画事業	81,508
10 教 育 費	6 社 会 教 育 費	史跡岩宿遺跡保存整備基本計画策定事業	3,740
10 教 育 費	6 社 会 教 育 費	岩宿博物館常設展示改修事業	40,944
11 災 害 復 旧 費	1 公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 費	道路橋梁災害復旧事業	5,000